

## 平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	デジタル古地図「高遠ぶらり」制作・活用事業
事業主体 (連絡先)	「高遠ぶらり」制作委員会 (伊那市高遠町西高遠 810-1 伊那市立高遠町図書館気付)
事業区分	(3) 教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,983,814 円 (うち支援金:2,107,000 円)

### 事業内容

デジタル古地図「高遠ぶらり」制作事業は、本年度支援金募集最終年を迎えたため、今後の活動基盤を充実させるため本年度は以下の事業に重点を置き、計画・活動を行った。

本年度「高遠ぶらり」重点事業

- (1) 「高遠ぶらり」Android 版制作
- (2) 高遠ぶらりアプリを使用した認定ガイド育成及び機材整備
- (3) 伊那谷「ちずサミット」の開催
- (4) ジオパークぶらり



### 事業効果

※1 自己評価 (事業実施率) 【A】

- (1) Android 版の制作は、地域の方々及び i-phone/i-pad 使用の環境客のアプリへ触れる機会を提供可能となった。  
また、地域協働を目標としている本事業において昨年度までよりも地域情報資産発信モデルとして拡充することができアプリのダウンロード件数、昨年 の 7,600 件より増加し、世界 36 か国、20,000 件 (年度末) となっている。
- (2) 地域の様々な活動の中に「新しい学びと観光の機会」増やし、「地域の文化遺産・自然遺産を知るためのガイドプログラム」の制作を目標に継続的に講座を開催している。
- (3) 上伊那・伊那谷地域のデジタル・コモンズ (共有財産) の構築と活用に関する機運を醸成し活用するために「伊那谷デジタルコモンズ・デザイン・フォーラム月間」を行いデジタルアーカイブ実践事例先進地域よりパネリストを招き情報交換を行い、地域発のデジタルアーカイブ展開事例においては先進的な取り組みを行った。  
月間トータルでは、2 つのシンポジウムに約 100 名の参加、機器展示では 1000 名以上へ機会提供を行った。
- (4) 地域の歴史資産を学ぶことを中心に活動を行ってきたが、平成 24 年度より地域の自然遺産である、南アルプスジオパークを題材に自然科学へも発展した。ワークショップ参加者 30 名参加。

#### 【目標・ねらい】

- 地域における公共の新しい協働のあり方を提供し、実現する。
- 観光客に対する新しい観光方法・ツール提供による、地域認知教条と観光満足度向上。
- 参加学習・創造的プログラム (ワークショップ) の提供による、新たな地域学習の方法及び機械の提供。
- 地域資産の活用に向けて、だれでもアクセス、編集・活用できるデジタルアーカイブの構築。

### 今後の取り組み

※2 自己評価 (事業効果) 【A】

アプリは、全国的な認知度を今以上に向上させ、定期的にバージョンアップを行い、情報の新鮮さを保つこととともに、事業への参画者の増加を図る。

協働のプログラムの展開へは、広域文化圏の地域遺産にかかわる取り組みとして広げていながら、本アプリを使用したツーリズムなどを定着させるために観光関係者などにより一層強化して事業を展開する。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある